

令和5（2023）年度環境学習出前授業の実施結果について

令和6（2024）年1月
栃木県環境森林部資源循環推進課

1 環境学習出前授業について

リサイクル施設の理解促進を目的として、県内の小学校を対象に、ペットボトルリサイクルの流れを中心とした廃棄物リサイクルの説明や、（公社）栃木県産業資源循環協会青年部の協力のもとパッカー車のごみ投入体験など、循環型社会の形成について学べる授業を行いました。

- ・対象：県内の小学校
- ・講師：資源循環推進課職員、（公社）栃木県産業資源循環協会青年部

2 実施結果

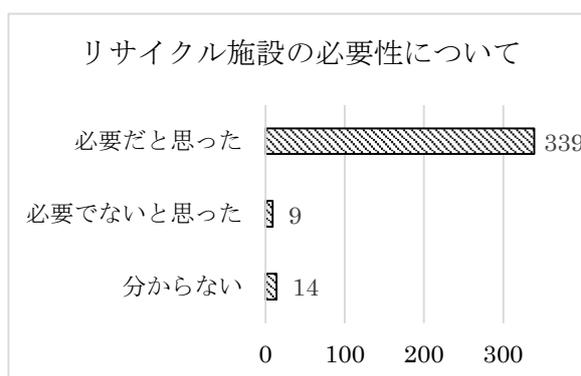
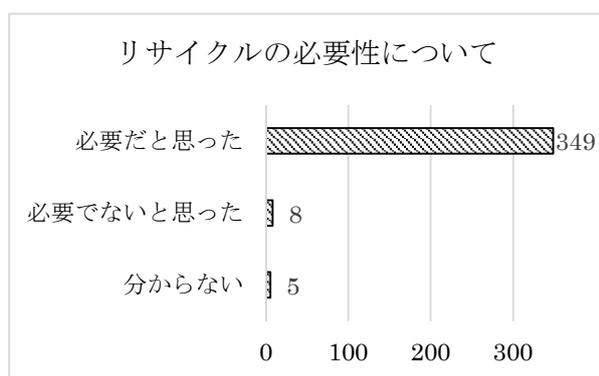
実施月	実施数	児童数	実施市町
7月	3校3クラス	48人	佐野市、大田原市、野木町
9月	2校3クラス	62人	茂木町、那須町
10月	3校5クラス	136人	益子町、那須町
11月	2校6クラス	152人	小山市、真岡市
合計	10校17クラス	398人	8市町
4学年	7校10クラス	241人	
5学年	5校7クラス	157人	

※クラス数及び児童数は申込内容から算出

※2校から複数学年の申込みがあったため、各学年の実施校数の小計と実施校数の総計は一致しない。

3 授業後のアンケート結果

○アンケート回答数：計10校17クラス362名



○主な授業の感想

- ・リサイクル施設は必要だということが分かった。
- ・ペットボトルなどのごみがリサイクルされることがよく分かった。
- ・3Rプラス3Rのことを初めて知った。
- ・リサイクルが大切だと分かったので、普段から分別などを実践したいと思った。